

BUNA

JAPANESE BEECH

ブナ

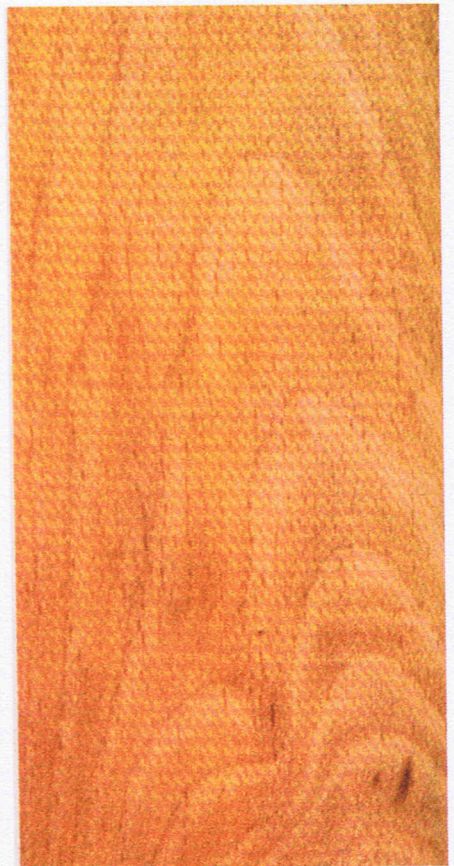
Japanese Beech (ブナ) 山毛櫨		ブナ科ブナ属	学名 <i>Fagus crenata</i>
表面状態	年輪が不明瞭な散孔材。辺心材の差も不明瞭。心材に相当する部分が少し濃色になることもあるが、疑心材といわれている。放射組織が発達しており、柾目面に赤みがかった斑点として見え、虎斑模様となる。肌目はきめ細かく、木理は通直である。		
生育地	北海道南部～本州～九州、四国に分布している。資源の蓄積利用は非常に減少している。		
材色	心材 辺材 白色～淡桃色～淡黄白色。疑心材が少し褐色化する。経時的变化により、濃色化してくる。		
重さ	気乾比重 0.65(g/cm ³) やや重厚である。		
強さ	曲げ強さ 100N/mm ² 縦圧縮強さ 45N/mm ² やや硬めであり、粘り強い。		
弾性係数	曲げ弾性係数 12.0N/mm ² やや硬く、弾力性がある。		
加工性	加工性は中庸だが、切削仕上がり感は良好。曲げ木に向いており、旋削もきれいに仕上がる。接着性も良好。		
耐久性	保存性は非常に低く、虫害も受けやすい。未乾燥材は変色しやすい。		
安定性	寸法安定性は良好ではない。製品化後も狂いを生じやすい木材である。		
乾燥性	木材乾燥は困難である。伐採後速やかに乾燥しないと変色することが多い。		
塗装性	材面は緻密なので、着色や塗装性は良好である。		
同名異種	イヌブナ(<i>F. japonica</i>)、タイワンプナ(<i>F. hayatae</i>)、チョウセンブナ(<i>F. mulinervis</i>) ヨーロッパビーチ(<i>F. sylvatica</i>)、ターキッシュビーチ(<i>F. orientalis</i>) アメリカンビーチ(<i>F. grandifolia</i>)		
用途	ブナ(ビーチ)材は、日本、ヨーロッパ、アメリカでよく使われており、家具、器具、玩具、日用品等になじみのある木材である。ブナ合板も大量に作られており、家具や内装材に用いられている。粘りがあるので曲げ木や成形合板に多用されており、トーネットの家具、ハンスウェグナーのYチェア等の無垢材の家具も北欧を中心として作られている。イギリスのウインザーチェアにもブナ材は使われている。		



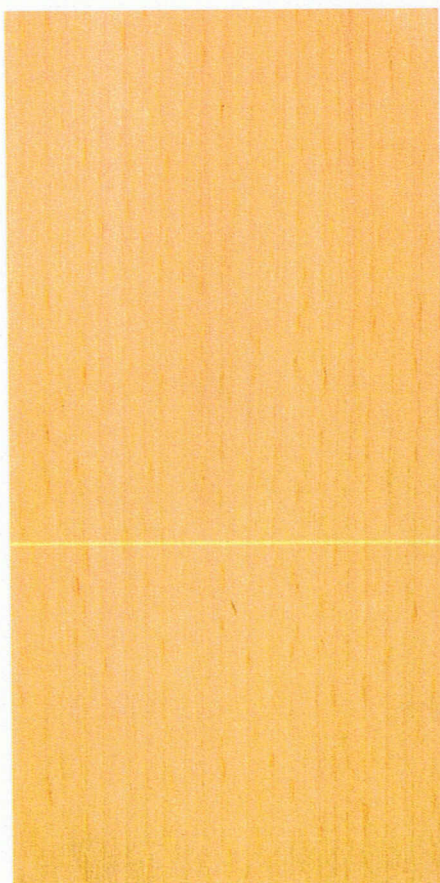
ブナ



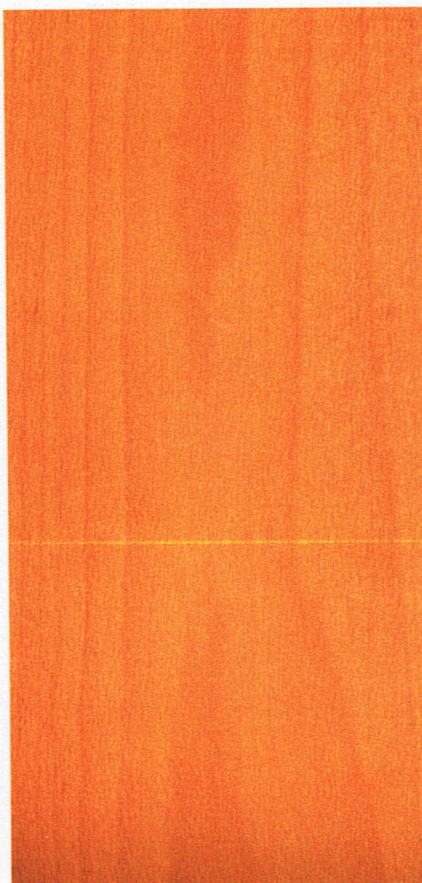
ブナ[®]



ブナ[®]



ブナ



ヨーロッパビーチ[®]



アメリカンビーチ

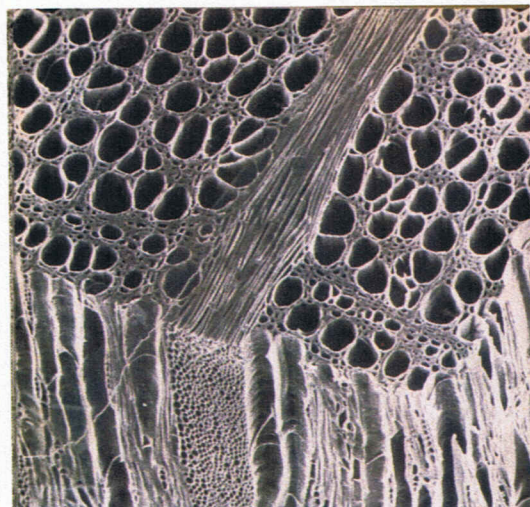
同属の樹種	木材の特徴
イヌブナ (<i>F. japonica</i>)	岩手県以南の太平洋側に生育している。ブナと区別なく出材されているが、ブナよりも重硬であり、狂いも大きい。
ヨーロッパビーチ (<i>F. sylvatica</i>)	欧州各地に森林(黒い森、シュバルツバルト)を形成し、よく管理されており、欧州では最もなじみのある樹木の一つ。日本のブナよりも形質は良いとされ、疑心材も少ない。比較的豊富に供給されている。伐採後の変色や普及は早いので、直ちに乾燥する必要があるのはブナ材の共通課題である。曲げやすく、粘りがあり、仕上がりもきれいなので、家具に賞用され、トーネットの曲げ木家具、ハンスウェグナーも好んで使っている。
アメリカンビーチ (<i>F. grandifolia</i>)	ヨーロッパビーチとほぼ同様であるが、若干粗い。曲げ木や旋削加工に適していて、家具によく使われている。化粧合板も作られていて、キャビネットにも使われている。日本にも輸出している。

ブナ(*F. crenata*)は、全国各地に生育し、ブナ林を形成していたが、白いブナの家具が1970年代に流行し、大量に使われたこともあって、日本のブナは希少になってきています。世界遺産になった白神山地のブナ林等、日本の本来の植生に適していおり、美しい自然を醸し出しています。

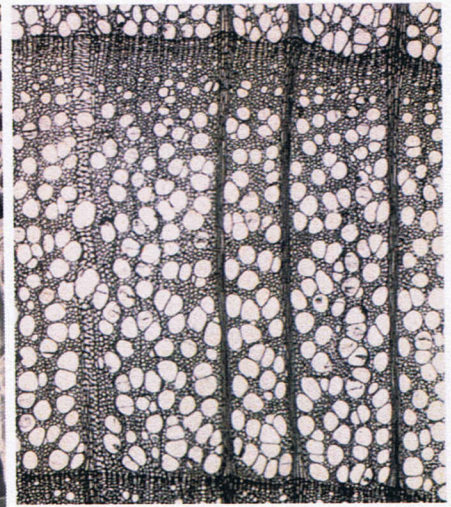
ブナ材の家具は柾目の虎斑を上手く使った、端正な家具が多く、粘り強さや重硬さを生かされています。乾燥技術や加工技術の進歩がブナ材の利用を促進し、天童木工の成形合板による家具や、椅子の背もたれの曲げ木、化粧合板によるキャビネット類等、モダンな雰囲気に対応したものです。国産のブナ材が枯渇し始め、あまり見られなくなりました。

欧州ではブナ材の特徴を生かした家具が、北欧を中心として根強い用途を持っています。北欧家具は日本でも流行しましたが、このブナ材の端正さと材質によるものが多いと思われます。ハンスウェグナーは好んでブナ(ビーチ)材を使用し、他にない味を持っています。アメリカのブナ材も同様に使われており、日本や欧州にも輸出しています。その他、中国やロシア等にもブナがあり、輸出されています。

ブナ材は小物や器具等の日用品にも使われています。それに加えて、木工の接合に使うダボ(太柄)はブナ材によるものが多いようです。



ブナの走査型電子顕微鏡写真^①



ブナの木口の顕微鏡写真^①